

総合人間科 初年度第一次報告 各学年の取り組みから

中学一年

学年テーマ「生き方を探る ——人と地域から、自己発見の機会——」

寺井 一・徳井 輝 雄
長岡 咲子・湯澤 秀文

1. 学年テーマについて

小学校を卒業したばかりの中学1年生の生徒達の中には、そろそろ自我に目覚めかけ、自立しようという生徒が見られる。本校での中高6ヶ年の生活を始めるこの時期において、自分はどのような人間なのか、自分は何をしたいのか等、自分を客観的に見つめたり、そして自分の頭で考え責任を持って行動したりする力、自分の将来を自覚的・主体的に選択していく力の基礎を作ることを、この科目の中1での目標とする。

活動としては、生徒に様々な人や物事と出会いをさせ、見聞を広めさせることを主とする。人の話を聞いたり、書物を読んだり、映像を見たり、また、学校の外へ出掛けたりして出会いの機会を作り、そのことにより、生徒に学校生活を送る上での目標ができればよいと考える。

授業形態も、生徒自らが考え、学び、実践する形を重視する。討論・意見交換を積極的に行い、同一のテーマについて他の生徒がどのように異なった考え方をしているのかも学ばせたい。

担当は湯澤・長岡、徳井・寺井の4名、学部から馬越教授の助言をいたたく。

2. 生徒の実態調査

4月15日の初回の授業時にアンケートを行った。そのうち、記述式の二項目の回答を次に掲げる。

- 将来どんな職業に就きたいと思っているか。

医者	8人	デザイナー	3人
スポーツ選手	4人	漫画家	2人
また考えていない	11人	イラストレーター	2人
教師	4人	保母	2人
幼稚園の先生	2人	看護婦	2人
獣医等動物関係	4人	タレント	2人

小説家 3人
汗を流して働く職、やりがいのある職、地球環境を守る仕事

• 将来の夢

- | | | | |
|-----------|----|-----------|----|
| 汗を流して頑張る | 2人 | 幼稚園の先生になる | 2人 |
| 平和な一生 | 2人 | 結婚したい | 3人 |
| 小説家 | 3人 | 動物保護をする人 | 2人 |
| 大きな家を持つ | 2人 | 看護婦 | 2人 |
| いぬ・ねこを飼う | 2人 | 漫画家 | 3人 |
| スポーツ選手になる | 6人 | 医者 | 4人 |
| デザイナーになる | 3人 | 学者 | 4人 |

みんなからいいねと言われる人になりたい、
みんなから尊敬される人
母を楽にしてやりたい
名大の経済学部を出て、国家公務員になってなんでも話せる人と結婚して一生楽しく過ごしたい。

自分の将来の夢がまた漠然としている者も多いが、自分の興味ある物事を探り追求していかせること（夏の宿題。5. 参照）で、将来の目標をつかむ契機にさせたい。

3. 1学期の授業概要

- 第1回 オリエンテーション、アンケート
- 第2回 憲法講演会（小中陽太郎氏）を聞いて、感想の発表、意見交換（79人を4グループに分ける）
- 第3回～第6回 映画「学校」（2回）、「戦争の中の中学生」、「木を植えた男」、以上3つのテーマでビデオを用い、感想を発表、討論
- 第7回 1学期に学んだことのまとめと夏の宿題

4. 1学期に学んだこと～生徒の意見より～

●映画「学校」をみて

- 人間は助け合わないと生きていけない 2
- 学校の大切さ 2
- 人と人のふれ合いの大切さ(自分も他人も大切に)
3
- 学校とは勉強するだけの所ではない人間関係が大事 4
- 幸せとは主観的なもので自分が幸せと思ったら幸せ
4
- 友達を大切に 3
- 今は幸せだろうか不安だ

ループ分けをし(各クラス10名×4班)、訪問地の決定、訪問準備を行う。3学期は野外学習のまとめを行い、その成果を冊子の形にまとめる予定である。

(文責 寺井 一)

● 「木を植えた男」より

- 何事も諦めず頑張るとかならず出来る 9
- 自分も何かに熱中してみたい
- 誰かの為にやろうとか、目標を持てば誰だってできる
2
- 小さな事でもやっていたら大きな事になる 2
- 自然を大切にすること
- 努力することの大切さ 2

● 「戦争の中の中学生」より

- 戦争のむなしさ、おそろしさ、二度としてはいけない
8
- 戦争は無意味、戦争はただの殺しあい 2
- 戦争は勝った国も負けた国もみじめになる
- 戦争せずに話合いで決める
- 戦争の中でのひとびとの生活 2

● 全体を通じて

- 今の自分は幸せ 3
- 大人になるのに大切なことを学んだ
- 今勉強できることが幸せかもしれぬ
- みんなが思ったことを発表したことが良かった
- 討論でみんながどう思っているかを知ったり、みんなから学んだ 3
- 人は他人のことを考えて行動しなければいけない
2
- 自分の考えを持って生きる 2

5. 今後の展望

1学期は教師の側から出会いの機会を提供し、様々な人の生きざまを考えた。

12月6日には、以前から本校中1の行事である野外学習(グループ別に名古屋近郊の興味ある様々な場所を訪問しインタビューするもの)がある。この行事と総合人間科を連結させて2学期の学習を展開する。夏休みに自由研究の宿題を課し、その発表をさせる。発表を通して各自のテーマを類別して、野外学習のグ